

# 平成 29 年度第 2 回庄原市特別支援教育研修会

平成 29 年 11 月 22 日（水） 庄原市立庄原小学校

特別支援教育の校内支援体制の中核を担う特別支援教育コーディネーターの資質の向上を図るとともに、校内の支援体制の充実及び特別支援教育を視点を据えた授業改善を推進することを目的に、研修会を行いました。

## 【公開授業】「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の実際」

「知的障害特別支援学級 算数科」	授業者	庄原市立庄原小学校	教諭	臺 明子
「自閉症・情緒障害特別支援学級 算数科」	授業者	庄原市立庄原小学校	教諭	宮本 佐和子
「肢体不自由特別支援学級 算数科」	授業者	庄原市立庄原小学校	教諭	森元 真理子
「5年1組 総合的な学習の時間」	授業者	庄原市立庄原小学校	教諭	住田 里美

## 【研究協議】「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 小谷 綾子



### ◆公開授業をもとに、5グループに分かれて特別支援教育における授業の充実について協議を行った。

- ユニバーサルデザインの授業**…発達障害のある児童生徒には「必要」であり、どの児童生徒にも「あると便利」な支援がされた授業
- ・授業のねらいや活動をしぼる。
  - ・学習の流れを書いて示す、半具体物を掲示する等、児童にとって見えないもの、見えにくいものを視覚化する。
  - ・ペアトークやグループ学習等の話し合いを組織化する。

## 【講話】「『主体的な学び』を促すユニバーサルデザインの授業づくりについて」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 小谷 綾子



### ◆配慮の必要な児童生徒への適切な支援やユニバーサルデザインの授業づくり等について講話を行った。

- ・配慮を必要とする児童生徒への適切な支援を組織的・計画的に行うためには、個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成と活用が必要である。
- ・ユニバーサルデザインの授業は、児童生徒の多様性に応じた包括性の高い授業である。

## 【参加者の振り返りより】

- ・ねらいや活動をしぼって、手掛かりを視覚的に整理して示し、話し合いをさせることが参考になった。
- ・「分かりやすい授業づくり」「必要な児童への配慮」が随所に表れていて、普段からの積み重ねが大事であると改めて実感した。
- ・常に、生徒への支援と分かりやすい授業づくりを軸として、教材研究や授業づくりをしていきたい。